

## 審議会等の会議の記録

会議の名称	令和5年度第2回市史編さん委員会
開催日時	令和5年11月15日(水) 午前10時00分～11時00分
開催場所	市役所北館4階会議室
出席者氏名	(委員) 三好委員長、相川委員、青木委員、桜井委員、前澤委員、里見委員、栗田委員、村岡委員、新井委員、細井委員、櫻井委員 (オブザーバー) 新井文化財保護課長、出浦文化財保護係長、横澤埋蔵文化財係長 (事務局) 二上教育副部長、和佐田図書館課長、勢藤市史編さん係長、和久市史編さん係長
傍聴人数	0人 (公開)
会議の議題	(1) 専門委員会での協議内容について (2) 基本計画案について
会議資料の内容	(1) 専門委員会での協議内容について (2) 基本計画案
会議における議事の経過及び発言の要旨	<p>1 開会</p> <p>2 報告事項</p> <p><b>専門委員会での協議内容について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回市史編さん専門委員会の内容について事務局より説明を行った。</li> </ul> <p>委員 四ツ葉学園の生徒の参加など、若い人に興味を持ってもらえる絶好の機会である。市内の外の高校にも参加してもらおうと学校間の競争意識も高まる。</p> <p>事務局 歴史分野だけではなく経済産業など幅広い分野が市史に関わるので、今後色々な分野の若い世代の人にも関わってもらえる取組を続けたい。</p> <p>3 協議事項</p> <p><b>『伊勢崎市史編さん基本計画』案について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画の最終案について事務局より説明を行った。</li> </ul> <p>委員 伊勢崎らしさを打ち出すため、現在の市の様々な計画で挙げられているような方向性、現状での生活感を含めて3つを挙げている。いずれも今までの市史とは違ったようなものになっている。次の地域づくりのベースになるもの、現状を認識した上での方針とした。刊行計画については、令和17年を最終年とする計画だが非常に厳しい。事務局の体制を拡充したりしないと刊行は間に合わない。</p> <p>委員 基本方針の用語の使い方について気になる箇所が3点あった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「景観の復原」は地理用語では部分的な狭い範囲を元に戻す時に用いるので、「景観保全」「景観維持」等の広範囲を指す言葉がいいのではないか。</li> <li>(2) 「データベース化を実施する」とあるが、資料の保</li> </ul>

	<p>全や見せ方についても、データベース化することと一緒に言葉を添えた方がいいのではないか。</p> <p>(3)「世代間の継承」は「次世代の継承」の方がなじみやすいのではないか。</p> <p>事務局 (1)「景観の復原」専門委員会で一番こだわったところである。歴史だけでなく民俗や自然など様々な分野からのアプローチをした上で伊勢崎の先人たちの暮らしぶりが市史を読むことで頭に浮かぶことを目指して市史を作ることによって「景観の復原」となった。</p> <p>(2)データベース化 個人所有資料の所在を把握した上でその後所在状況を継続的に確認していく必要があるため、「所在確認」という言葉で記載した。</p> <p>(3)若い世代と高齢者との相互のやりとりということで、一方的な継承だけではないということであえて「世代間の継承」とした。</p> <p>委員 (3)の「さまざまな立場の市民が共生する活気ある地域づくりに寄与していく」という記述で、その例として「国籍や障害や性別の違いのほか」と入っているが、国籍を入れたのは伊勢崎市が外国籍の方が多き事情を考慮して入っているからだと思う。群馬県でも外国籍の方を「外国人県民」と呼んでいかに共生し、県の一員となって活躍してもらうことに力を入れている。具体的な方針やビジョンがあれば教えてほしい。</p> <p>事務局 方針やビジョンは確立していない。今後調査研究の中でこの方針を調査者が頭に入れながら調査する中で何か形ができると思う。外国籍の方の生活習慣を1つの調査項目として設定することは必要だと思う。</p> <p>委員 (3)は非常にやっかいで難しい問題である。「共生社会」はうたい文句としてはいいが、実際には複雑で様々な考えの人がおり、認め合うことは難しいのではないか。</p> <p>●「伊勢崎市史編さん基本計画」については、事務局案のとおり承認された。</p> <p>5 その他（事務局より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伊勢崎市史編さん基本計画」は議会と報道に情報提供を行い周知する。</li> <li>・次回委員会は2月を予定。</li> </ul> <p>6 閉 会</p>
--	--